



詩人

フランチェスコ ペトラルカ

に寄せて

ペトラルカ イン ムジカ Petrarca in Musica

プログラム

ヤコポ・ダ・ボローニャ マドリガーレ： 恋人にではなく
(1340 - 1360)

ヴィエツラ/ソプラノ

フレデリック・ショパン プレリュード11番
(1810 - 1828)

ピアノ独奏

マリオ・カステルヌオーヴォ・テデスコ 恋人にではなく
(1895 - 1968) ショパンのプレリュード11番の伴奏で

ソプラノ/ピアノ

バルトロメオ・トロンボンチーノ フロッタ：我が想い人生を支えるか細い糸よ
(1470 - 1535...)

ソプラノ/ヴィエツラ

フランツ・シューベルト ソネットI：アポロンよ、まだ御身の愛の情熱が生きているのか
(1797 - 1828)

ソネットII：ただひとり思いにふけり

ソプラノ/ピアノ

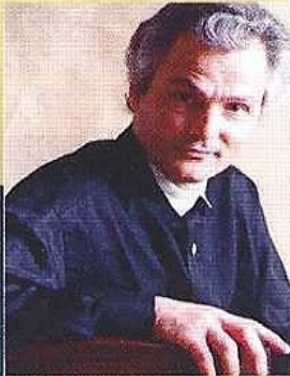
イルデブランド・ピッツェッティ ペトラルカの3つのソネットより
(1880 - 1968) 人生は逃げゆき、かた時も留まることなく

ソプラノ/ピアノ

アンサンブル
ムジカ リチェルカータ



ピアノ：横山 緑



ヴィエツラ：
ミヒヤエル シュトゥーヴェ



ソプラノ：内村 亜彩子

2016年11月13日(日) 18:30 開場 19:00 開演

全席自由 2500円

札幌時計台ホール

札幌市中央区北1条西2丁目
お問い合わせ 011・723・0431
Email: concertofirenze@gmail.com

主催 ムジカ リチェルカータ、イタリア音楽友好協会

後援：札幌市、札幌市教育委員会

アンサンブル・ムジカ・リチェルカータは1987年にミヒヤエル・シュトゥーヴェと他の音楽家によって創立され、フィレンツェを中心に活動している。1989年には文化協会として組織化され、1998年にONLUS(非営利協会)として認可される。当初の活動目的は、フィレンツェ楽派時代の偉大な作品レパートリーの復興であったが、その後グループの調査や研究は西洋音楽のヘレニズム時代から現代までのすべてを包括するものへと拡張した。これらの活動から生まれた演奏会のプログラムは、大変に興味深いもので、滅多に演奏されない貴重な作品などが多く含まれている。協会の会長及びアンサンブルの代表はミヒヤエル・シュトゥーヴェ。彼の指導のもとでムジカ・リチェルカータはヨーロッパ各国やアジア諸国で演奏活動している。その中には国際フェスティバル(タランテーゼ・バロック音楽祭1989年、ウンブリア教会音楽祭1995年、モンファルコーネ1996年、フィレンツェ5月音楽祭1996年、ポテンツァのアテネオ・ムジカ・パジリカータ1998年、ライブチビ・パッハ祭2001年、チヴィターレ・デル・フリウリ祭2001年、シェンブレン・フェスティバル2002年、桐生市の室内音楽祭「室内楽の四季」2003年、モスクワのトスカーナ芸術週間2003年、京都・フィレンツェ姉妹都市40周年記念祝典2005年)での演奏活動も少なくない。ムジカ・リチェルカータは、テレビやラジオの出演でも知られている。当協会は、国際シンポジウムや会議なども開催し、スクオーラ・ノルマーレ・スーペリオレ・ピザ大学(Scuola Normale Superiore Pisa)やルイジ・ケルビーニ・フィレンツェ音楽院、ウィーン音楽大学、モスクワ・ゲネツィン国立音楽アカデミー、大阪大学などの研究所と共同で学術活動も行っている。出版物としては、代表的なものに、フィレンツェのLeo. S. Olschki 出版社イタリア音楽学誌「リズ」の「音楽と音響美学危機」(Musica e Crisi sonora)が挙げられる。ムジカ・リチェルカータは、ヨーロッパ及び国際共同事業をその活動目的ともしており、さらにはEU委員会の様々な文化プログラム領域内での芸術プロジェクトを実現化している。

